



あいおいニッセイ同和損保と JR 東日本による 新しいモビリティサービスの技術検証に関する連携について

2020年6月8日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉 恭三、）と、東日本旅客鉄道株式会社（代表取締役社長：深澤 祐二、以下「JR 東日本」）は、Connect IQ Labs, Inc.（CEO：Jigar Shah、以下「Miles」）が開発した「スマートフォンを介して得られる位置情報から、移動手段を自動的に判別し、独自の移動ポイントを付与し、ポイントに応じてリワード・クーポンを提供するアプリ」を日本で初めて導入し、地方創生・地域活性化に繋がる新しいモビリティサービスの提供に向けて技術的な検証を進めていくことを合意しました。

当社は、お客さまサービスの向上、地方自治体・地域サービスの発展に向け、JR 東日本と連携して、より安全・安心で最適な公共交通環境を提供し、地域社会の持続的な発展に貢献していきます。

1. 背景

近年、少子高齢化等の経済環境の変化を踏まえた取組みとして、AI 及びビッグデータを活用し、社会の在り方を根本から変えるような都市設計の動きが国内外で急速に進展しています。

当社では、こうしたスマートシティや新しいモビリティ社会の到来を見据え、地方自治体・地方公共団体との連携協定を積極的に行い、地域のネットワークの拡大を進めています。

JR 東日本においても、鉄道ネットワークの力を活かし、地域社会の発展に貢献するため、地域密着の行動指針のもと地域活性化を推進しています。

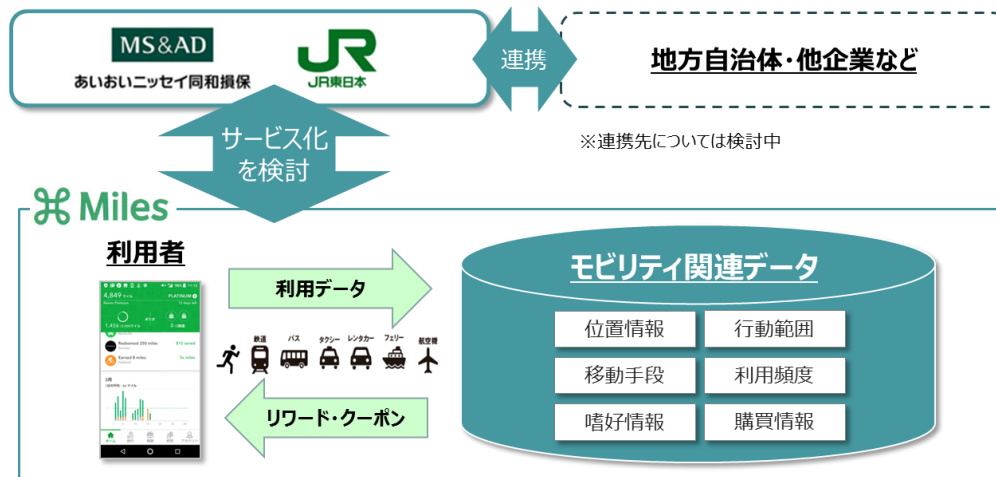
両社は、地方創生・地域活性化に向けた取組みの一環として、ICT と新たなモビリティサービスを活用することにより、利用者への安全・安心と新たな付加価値を提供するべく、シリコンバレーのスタートアップ企業である Miles 社の技術を日本で初めて導入し、共同で技術的な検証を進めていくことを合意しました。

2. 概要

当社と JR 東日本は、スマートフォンを用いたアプリケーションや Web サービスを今後、実証実験に向けて共同でシステム検討を行い、そこから得られるモビリティ関連データを地方自治体や協業先企業などで利活用できる仕組みを検討します。

Miles 社のアルゴリズムを活用し、利用者の移動手段や移動範囲等のデータを蓄積・利活用することで、安全・安心な街づくりに役立てるほか、利用者に対しても、利用状況に応じて、両社あるいは地方自治体や提携先企業などがクーポン等を発行して付加価値を提供することを検討します。

<新しいモビリティサービスのイメージ>



3. 今後の展開

利用者に対して、買い物・宿泊など周辺地域で利便性の高いサービスを提供するとともに、より安全・安心な街づくりに貢献していきます。

また、両社の提携先である地方自治体や提携先企業などのニーズを踏まえたサービス化を検討し、収集した人流・交通データ等を活用・分析することで地域の発展に貢献します。

【Miles について】

2016年にシリコンバレー（米国カリフォルニア州）で設立された「スマートフォンであらゆる移動手段を識別しリワードに変換するプログラムを初めて立ち上げた」スタートアップ企業です。

同社のアプリは、累計 35 万ダウンロード（2020 年 5 月時点）を突破し、米国で幅広い層のユーザーに移動に価値を提供し、集客・送客にも効果を発揮しています。また、その移動データは、都市計画や交通インフラの整備にも活用されています。

社名	Connect IQ Labs, Inc. (Miles)
社長	Jigar Shah
設立	2016 年 2019 年からマイルズアプリを展開
住所	Redwood City, CA
資金調達	Seed、7.1M（2020 年 5 月末時点）



以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

